

平成23年5月31日

日本学術振興会
プロセスシステム工学第143委員会
委員長 平尾 雅彦

プロセスシステム工学第143委員会
第182回委員会・平成23年度第2回研究会 開催通知
(143委員会ホームページ <http://www.pse143.org/>)

1. 日時：2011年7月15日(金) 13:00～17:00 委員会・研究会
2. 場所：キャンパス・イノベーションセンター(CIC) 東京 国際会議室
(東京都港区芝浦3-3-6/電話：03-5440-9020)
(交通：JR 田町駅 より徒歩1分)
<http://www.cictokyo.jp/access.html>
3. 委員会：(13:00～13:10)
4. 研究会：(13:10～17:00)

13:10～13:30 国際会議参加報告：

「ESCAPE 21 参加報告」 静岡大学 武田和宏 委員

テーマ：プラントの情報セキュリティ

13:30～14:15 「Stuxnet が塗り変えたセキュリティ課題」

JPCERT/CC 宮地 利雄 氏

<概要>

2010年に発見報告された Stuxnet ワームは、制御システムのセキュリティに対する基本的な考え方の見直しを迫っているように思われます。何が変わったのか、その全体像について考察を試みます。

14:15～14:55 「製造現場における情報セキュリティの取り組み」

三菱化学 定久 典正 氏

<概要>

プラント制御システムコンソールの汎用 PC 利用や OPC サーバの普及によりデータ収集など利便性が向上した一方で、コンピュータウィルスなどの脅威が著しく増し、情報網の安全性の課題がいつそう浮き彫りになってきた。IT の恩恵を享受しながら、プラント制御の安全性を確保するための現場での取り組みを紹介し、議論の材料としたい。

14:55～15:15 休憩

15:15～15:55 「プロセス制御システムセキュリティ」

横河電機 武部 達明 氏

<概要> IT 機器、システム、端末、無線が普及したが、セキュリティを念頭に置いて企画・開発・設計されたものは多くない。生産性・コスト改善のため、プロセス制御システムも量産されたハード、ソフトを部品として取り込んでいる。その結果、制御システムでも IT システム同様のセキュリティ問題が顕在化し始めている。ベンダとして、どう対応すべきか？ についてのアプローチを共有したい。

15:55～16:35 「生産システムにおける危機管理のためのテストベンチの構築」

名古屋工業大学 越島一郎 氏

<概要> 業務効率化・高度化のためネット接続された生産システムを対象とした、危機管理演習のための教育システムの構築とそれを基にした事業継続エクササイズの開発に関して現状を報告する

16:35～17:00 総合討論

<追記>

準備の都合がありますので、出欠を7月5日(火)までに下記宛てにご回答下さい。

東京大学大学院 工学研究科 化学システム工学専攻

菊池 康紀 (E-mail : admin@pse143.org)